

私たちのロサリオの聖母 2018年



親愛なる姉妹の皆様

本会の伝統である 10 月 7 日、私たちは聖母の愛情あふれるご保護を願って、私たちの保護者ロサリオの聖母に感謝の意を表します。

「私があなたと共にいるから、シオンの娘よ、喜びなさい。」この預言者の言葉は、日々の困難に直面していく大きな自信を私たちに与えてくれます。弟子たちと同じように、私たちはマリアと一緒に祈りのうちに一つになります。彼女は私たちの教師であり、私たちの日々の仕事のすべてを導いてくれます。

聖アンブロシオを引用している第二バチカン公会議は、聖母マリアがすべてのことを教えてくださいと述べています。私たちが聖母マリアを見据えるならば、私たちはドミニコ会員・宣教修道女の召命に熱意と一貫性をもって生きることができます。またそのように生きるべきであるという一連の態度を見出します。神様からのすべての呼びかけは、喜びと希望の源です。聖母マリアは、「おめでとう、恵まれた方」（ルカ 1:28）、と喜びへと招かれる神の呼びかけを受け入れた後、「私の魂は救い主である神を喜びたたえます。」と肯定し始め、感謝の賛歌を歌われます。この喜びの動機は何でしょうか。身分の低い、このはしためにも目を留めてくださったからです。力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

聖母マリアを観想していると、私たちは主が私たち一人ひとりにどのように多くのこと、また良いことをなされたかを知り、喜びへと導かれます。この喜びには、主に従うようにとの呼びかけに対する感謝が伴います。なぜなら、神が呼びかける者を決して見捨てないことを知っているからです。聖母マリアが言われるように、代々にわたって主の慈しみは広がります。

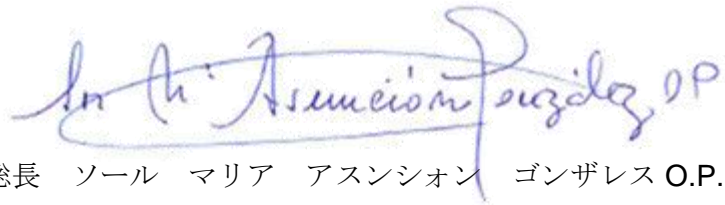
姉妹たちよ、私たちは未来を先取りしています。聖母マリアのように時のしるしを読み取ることを知っていれば、私たちにはできること、とすべきことがたくさんあります。家庭的な温かい雰囲気、などに欠けている富んでいる人、貧しい人、飢えた人、控えめな人、除外された人、移住民、子供たちがいます。

最終的に聖母マリアは、情熱と希望をもって今を生きるよう私たちを招いています。聖母マリアは天使のお告げを受けた後、自分で持ち運びきれない喜びを伝えるために素早く動き、人のしもべになるために行動しました。そこで神の愛が実証され、それぞれの兄弟姉

が愛されていることが確認されます。私たち一人ひとは聖母マリアと共に聖霊に駆り立てられ、今日も貧しい人を愛しながら、情熱、希望、喜び、熱烈かつ寛大な信仰をもって私たちの召命を生きるべきです。それは福音の喜びが地の果てまで行き渡るように、また 誰もがその光を奪われないためです。

私は皆様がたに私たちのロサリオの聖母の祝福を願っています。

姉妹的抱擁と私の祈りを込めて、



総長 ソール マリア アスンシオン ゴンザレス O.P.